

2022年6月

## 成田国際空港 カーボン・マネジメント・ポリシー

成田国際空港株式会社（NAA）は、環境への取り組みを経営の最重要課題と位置づけ、経営ビジョンに環境への配慮と地域との共生を掲げています。また、環境基本方針に基づき、世界的な動向や成田国際空港を取り巻く環境の変化を踏まえ、2030年度に向けた長期ビジョンとその実現に向けた実施計画を策定しています。成田国際空港が今後も発展していくために、航空会社、貨物事業者などの空港関連事業者とともに地球的視野に立った環境にやさしい循環型空港「エコ・エアポート」としての取り組みを進めています。

NAAは、気候変動への取り組みとして、空港施設におけるエネルギー使用量の削減や成田国際空港からのCO<sub>2</sub>排出量を削減するため、省エネルギー機器等の導入を計画的に進めるとともに、電力購入における低炭素電源の選択や低公害車の導入などを進めていきます。さらに、第三者の認証を得ながら、国際空港評議会（Airports Council International）の空港カーボン認証制度（Airport Carbon Accreditation）を活用し、成田国際空港からのCO<sub>2</sub>排出量を削減していきます。

加えて、暴風雨その他の異常な自然現象への防災対策を適切に実施することで、地球温暖化に伴う気候変動への適応対策を進めていきます。

これらにより、NAAはステークホルダーとともに空港運用に伴う地域への環境負荷低減と地球規模の環境課題に取り組み、持続可能な社会の構築を目指していきます。

田村 明比古

成田国際空港株式会社

代表取締役社長

田村 明比古

